

# 片上鉄道 片上のおもひで

ふちんかん

1991年に片上鉄道が廃止されても、山陽本線を利用するたびに、その姿を探すことは習慣のようになっていました。「あ、そういえば廃線になったんやっただけ？」と後から思い出したものです。

実は私、片上鉄道に乗ったことがないのです。ただ片上駅については現役時代に一度、廃線になってから一度訪れていますので、ここでは片上駅について私の思い出をお話します。

今回お話しする片上駅は、片上鉄道開業時から起点として存在していた駅で、備前市の中心に位置します。鉄道名の由来にもなっています。

初めて片上駅を訪れたのは今から20年前です。当時高校生でした私はローカル線の乗り潰し（死語ですか？）と鉄道写真撮影に没頭しておりまして「青春18のびのび切符」を利用して小旅行を繰り返しておりました。

福塩線あたりを攻めた後、岡山から赤穂線に入り片上鉄道を見てみようと思っていたのですが、迂闊にも最寄りの「西片上」駅を寝過ごしてしまいました。乗り放題の切符でしたので引き返そうと、次の「備前片上」駅で降りました。しかし降りてみると反対列車は1時間ありません。駅間が2キロ程度でしたので西片上まで歩くことにしました。西片上までの道は白壁の土蔵が並ぶしっとりとした町並みで、高校生だった私には新鮮でした。「ああ、こういう風景が日本各地にあるのだろうか」それまで鉄道オンリーだった私の旅行観を切り替えるきっかけになりました。私の『ディスカバージャパン』は片上からはじまったと言えるのです。

片上鉄道の片上駅では記念の入場券を買いました。駅員さんがマニアに理解のある人だったのか、好きなところを見てもいいよと構内の撮影許可をいただきました。構内はけっこう広かったように思います。当時はまた貨物輸送もあり、貨車の出入りもあったように思うのですが、危なくはなかったのでしょうか。変わった形のディーゼルカーに目を奪われ、あまり覚えていませんが。

その後、駅から少し北へ向かったあたりの線路端で列車の走行写真を撮り、国鉄の西片上へ向かいました。このとき片上鉄道で和気まででも乗っていけば良か

ったのですが、高校生の私にとって私鉄の乗車賃は痛かったことを覚えています。8年後に片上鉄道は廃止となり、ついに乗らずじまいとなってしまいました。

次に片上を訪れたのは今から3年前、小豆島への家族旅行の際です。日生でフェリー待ちの時間がありましたので、片上まで車を走らせました。すでに廃線から9年経過しておりまして、片上駅はもちろん線路もありません。ただ踏切跡が数カ所ありましたので、そこから辿って行って見つけました。片上駅は大型の商業施設やその駐車場になっていました。私が走行写真を撮った場所はもともと鉄道に沿う形で細い道があったのですが、鉄道跡も細い道路になっていて、細い道が柵で隔てられて2本並ぶというおかしな風景になっていました。

以上で私の片上駅への思い出話は終わりです。ご精読感謝です。

**おまけ** 片上鉄道跡の発見までの間、狭い市街地を車でいったり来たりし、踏切跡を見つけては興奮し、片上駅跡地を見つけては興奮し、そのあと遠い昔を偲んでしんみりしていた30男は、助手席の妻にはどのように映っていたのでしょうかね。(たぶん呆れていた、いや諦めていたか)



20年前の片上駅で